

射水市が拠点の女子ハンドボールチーム「アランマーレ」を運営するプレステージ・インターナショナル（東京）と、通信制の第一学院高校富山キャンパス（富山市）は17日、包括連携と協力に関する協定書を結んだ。アランマーレ選手や生徒らが相互に支援、協力することでスポーツを支える人材育成や地域活性化、新たなスポーツ文化の確立などにつなげる。（網信明）

# スポーツ文化新たな一歩

## プレステージ社連携で協定

## 第一学院高富山キャンパス

アランマーレの元選手が同校富山キャンパス関係者と知人だった縁で、昨年には所属選手が学校に出向いて「夢授業」と題して生徒たちと交流。これがきっかけとなり、今回の包括連携に発展した。具体的には、夢授業を定期的に企画して生徒たちがトップ選手たちと触れ合う機会を増やす。アランマーレのホームゲーム開催時に生徒にボランティアを体験してもらい地域・社会貢献の重要性を学んでもらうなど。

同日に射水市黒河の同社富山BPOタウンであった式では、アランマーレの榎木祐穂主将が立ち会い、飯山進部長と山田健介・富山キャンパス長が協定書を取り交わした。

山田・富山キャンパス長は「一緒に活動することで生徒の成長促進や地域活性化に寄与できればいい」と期待。飯山部長は「第一学院の力を借りながら、重視しているチームマネジメントや地域貢献に力を入れた」と意気込みを語った。

## アランマーレ選手と生徒ら相互支援



協定書を手にする飯山進部長と山田健介富山キャンパス長ら。射水市黒河で